

八月鹿ノ台教室誌上句会 優秀句

お題「秘密」(連記) 前田幸男選

女子競技どれもお臍の見本市

成功の秘密の裏に生きて行く

密約を結びそののち平和賞

墓場まで持っていけないエロテープ

左から右へ流れていく秘密

もう一度作ってみたい秘密基地

内緒なしだから続いた半世紀

秘密ネと念押すほどにバレていく

へそくりの場所を忘れてうろたえる

おばちゃんのナイショ町内駆け巡る

秘密だよ孫に守秘義務念押され

公表はともじやないと隠しとく

秘密など持ったことない身の軽さ

秘め事をたくさん背負い川わたる

旧姓が時々口に出る秘密

東大をでたが秘密にしています

秀 秘密主義人には聞くが言わぬ人

軸 水面下裏で極秘に動く金

お題「はきはき」奥村義雄選

活発な言葉が弾む通学路

はぎれ良い返事ばかりで腰上げぬ

はつきりと言い過ぎるから生む誤解

はきはきと答えてみたが誤解答

個性出る発表する子はきはきと

はきはきと返事する子ら頼もしい

一年生返事はいつもハキハキと

はきはきと返事するようだが見かけだけ

はきはきと返事のあとに舌をだす

介護認定はきはき答え嫁怒る

ラインでは別人のようはきはきと

秀 はきはきが無言にかわる反抗期

軸 総理よりはきはき話す幼稚園

お題「許す」原 広子選

こだわりをさっぱりすてて昼シャワー

許される方が苦しいこともある

許してるでも向き合うと込み上げる

バレていた見ぬふりをした母の愛

乱闘のゲームの果てにノーサイド

許します自分の気持ち楽にする

基 弘

宏 樹

郁 子

正 清

よう子

英 二

千 楽

乃 子

登 美

広 子

義 雄

えいじ

充

哲 子

ちさと

アキラ

春 代

幸 男

よう子

登 美

春 代

ちさと

春 代

えいじ

登 美

えいじ

正 清

広 子

英 二

アキラ

義 雄

登 美

英 二

哲 子

乃 子

ちさと

幸 男

あの仕打ち心のヒダが覚えてる

許す事出来ぬ度量で自己嫌悪

好きだもの許すしかない選択肢

蟬時雨人を許すも悪くない

何もかも許す気になる余命表

秀 許す気の妻のキッチンリズムミカル

軸 あの世ではきつと誰でも許してる

自由吟(共選) 水間 充選

耳鳴りをしばし忘れる蟬時雨

雑にとし重ね歪みが出てきてる

まだ前の総理がましと言い切れず

きつちりと柘目にはまる女文字

仕事だけの母の手料理食べぬまま

どっこいしょ五輪に負けぬ声を出す

ワクチンで老けた気がする自惚鏡

三密を避けて夫婦も5年過ぎ

老いの身をそつといたわる休みの日

血縁と言う厄介な付属品

ほかしたい重荷が背骨強くする

秀 外履きに蜘蛛の巣できてもう三日

軸 版画から飛び出てきそう金魚たち

自由吟(共選) 八木哲子選

捨てられぬ出来過ぎ野菜今日も食べ

外履きに蜘蛛の巣できてもう三日

耐え難い猛暑が美味くするビール

雑にとし重ね歪みが出てきてる

負けてこそ強くなれるとアスリート

老いの身をそつといたわる休みの日

ほかしたい重荷が背骨強くする

年を取り老人ですが欲減らぬ

口つぐむ金メダルにも松竹梅

ありがとう言葉ひとつの意味深き

曼茶羅をかかえる旅の半世紀

秀 脳膜にひつついている真田虫

軸 五輪ゆきテレビ周りも秋の風

哲 子

登 美

義 雄

正 清

よう子

よう子

よう子

廣 子

アキラ

乃 子

義 雄

ちさと

春 代

義 雄

廣 子

登 美

春 代

乃 子

廣 子

えいじ

充

えいじ

充

えいじ

アキラ

乃 子

千 楽

春 代

廣 子

宏 樹

英 二

英 二

正 清

正 清

哲 子

哲 子

*九月から句会再開の予定でしたが コロナ

が治まらず 当分の間 誌上句会にします

九月誌上句会 投句〆九月十日 各二句

「底(連記)」えいじ「後ろめたい」乃り子

「躍る」千楽 「自由吟（共選）」登美 幸男
*メール又は封書 アキラ迄